

令和7年度 練馬区立豊玉小小学校学校経営計画

日本一の学校 を目指して！

－学校は、確かな学力の定着をめざす「学び舎」であり、誰一人取り残さない「居場所」である－
本校創立以来149年間にわたって継承されてきた学校理念・教育実践を尊重しつつ、練馬区教育大綱及び練馬区教育振興基本計画や今日的な様々な教育課題への対応に基づき、学校経営方針を以下のよう
に策定し、子どもや保護者・地域の実態に即した地域と協働する学校づくりに、教職員一丸となり、「ONEチーム豊小」として積極的に取り組み、結果の出せる学校にする。

I 経営方針：目指す学校像

- 1 本校の教育理念：豊玉小学校に通学するすべての子どもたちに身に付けさせたい姿
人権尊重を基調とし、次世代の社会の形成者としての資質・能力を身に付け、地域及び国際社会
に貢献できる心身共にたくましく、心豊かで社会性のある人間の育成を目指す。

教育理念 **豊小フライド** 「**自立 創造 共生**」

～豊玉小学校に通学するすべての子どもたちに身に付けさせたい姿～

豊小フライド **自立** (自分から) **創造** (つくりだす) **共生** (つながる)

- －未来への夢をもち、自立し、自ら創り出し、地球人として共に生きる人になろう－
- 自立：自分のことは自分で考え、自分でする
 - 創造：自分の力でねばり強く創り出していく。
 - 共生：お互いの違いを尊重し、他者とながかり、他者とともに 力を出し合う

2 本校の教育目標

考える子 ねばり強い子 心ゆたかな子

3 目指す児童像＝子どもたちに付けたい力

- ◇自分から行動する子＝力
- ◇自分から創り出す子＝力
- ◇自分からつながる子＝力

4 目指す学校の姿

地域と協働する 人間愛と活力のある学校

- 児童が、毎日喜んで登校し、誇りをもてる学校
- 教職員が、自分の力を発揮し、やりがいを感じることのできる学校
- 保護者が、満足感と安心感をもち、子どもを任せられる学校
- 地域社会が、この学校を誇りに思い、コミュニティの核となる学校

5 目指す教師像

教師は子どもの一番の教育環境である

- 自己改善に努め、変革を求め、**学び変え続ける教師**
- 明るく、謙虚で、熱意あふれる**人間性豊かな教師**
- 誠実で、礼儀正しく、**品格のある凛とした教師**

6 本校が全校体制で大事にしていくこと

○あいさつ

「**語先後礼**」の徹底！（言葉を先に礼は後）目を見て、はっきりと元気な声で！！

○返事

名前を呼ばれたら必ず「**はいっ**」とはっきりと！

○話を聴く

人の話を**目・耳・心で聴く**！最後までだまってしっかり聴く！

○**A B C D**になろう！「**あたりまえのことを ばかにしないで ちゃんと できる人になろう**」

II 経営方針達成のために 《中期的経営目標》

- 1 自己肯定感を高め主体的に学び合う児童の育成のために、自己の高まりの実感ができる授業革新
- 2 児童の自立と中学校へのスムーズな接続のための高学年教科担任制の導入と学年経営の充実
- 3 地域や外部の意見を取り入れた学校運営の推進

<目標達成のための教職員の基本的な構え>

認める ①いつ（すぐ、後で） ②場面（個別に、全体で、家庭に連絡） ③方法（驚嘆・冷静・さりげなく、手紙、表情・サイン） ④内容（結果・取組、プロセス、かかわり）等
※ 児童本人が認められた理由が分かる・伸びを実感する・自覚する・自然体で！
※ 具体的な事実を何がよかったのか、何が伸びたのかを実感できるような言葉で！

- 児童の意欲を高めるために、失敗を恐れさせず「認め、褒め、励ます」など安心感のある環境作り、**笑顔と「笑い」**のある雰囲気作りを行う。
また、過ごしやすい環境、衛生・安全面の徹底を図る。
- 児童・保護者・地域の信頼関係を強めるために、「児童理解」に努める。
特に、保護者と密に情報連携を行い、協働して児童を育てる。

切り替える 学校生活には、「切り替える」場面が沢山あり、切り替えが上手にできれば、より生活が楽しく、その時間も有意義な時間となり充実する。

学ばせる 学び方を身に付けさせ、教えるよりも児童自身が学ぶ学習活動にする。児童相互に学び合う学習活動にする。○めあては、児童自身が立てる。○一人学びの時間を確保し自力解決や自分なりの考え等をもたせる。○説明や伝えるなど児童が学びを求めて主体的に取り組ませる。○相互指名やグループ討議等をさせ児童同士で課題解決させる。

「受け入れる・自分を信じていることができる」子ども ※継続事項（R5より）

- (1) **自分を「受け入れる」** 自ら頑張っている自分、チャレンジした（している）自分、練習したけれどうまくいかなかった自分を穏やかな気持ちをもって、自分を認める。
- (2) **他の人を「受け入れる」** 友達とのかかわり合いを大事にしている。友達も頑張っている。応援したり、励ましたり、手伝ったり、拍手を送ったりしていく。おおらかな気持ちを持ち、相手の立場に自分を置き換えて受け入れることも大切。
- (3) **環境を「受け入れる」** ①自然、気候に合わせる、美しいものを観賞するなど季節の移り変わりを楽しむ ②限られた時間の有効活用、今ある場で努力するなど、自分では条件を変えられない場面でも、諦めず明るく元気に活動していく。

1 児童の安全確保と衛生管理 「安心できる学校」とする。

- (1) 全教職員で事故の未然防止に努め、児童の安全と安心の確保を図る。
- (2) 災害や事故等が発生した時の迅速・的確な対応を全職員でとる。
- (3) アレルギーに対する適切な対応を全職員で行う。
- (4) 感染症等の状況に応じた「手洗い」「マスク」「換気」等の習慣化

2 教育活動を公開し、保護者・地域が「誇りとする学校」にする。

- (1) 教育活動の活性化を図るために、地域人材を生かした授業や、学校公開を行う。
- (2) 道徳科の授業を中心に全教育活動で道徳教育を推進し公開する。
- (3) 特別活動を重視し、児童主体の学校行事の工夫を図るとともに、学級活動を充実させ、学校公開に位置付ける。
- (4) 「日常」の教育活動をホームページ等で発信する。各学年で子供の頑張り等を保護者に発信していく。

3 児童の「学習意欲や生きる力を高められる学校」にする。

- (1) 学習態度の「基礎・基本」を身に付けさせる。
- (2) 児童の悩みの解消、児童理解の深化のために家庭、職員間で連携を密に組織対応する。
- (3) 各学年等での合同授業、交換授業を工夫し、指導力と協力体制の強化を図る。
- (4) 学習活動等の目的や課題を児童自身の興味や関心、問題意識等から明確にもたせ、その課題の解決が自らできるようにする。また、児童が必要感や必然性をもった問題を解決する学習を重視し、児童が自ら考え判断し表現することを十分に経験させる。

Ⅲ 本年度の取組目標と方策

1 「自律的な学び手」の育成を目指した授業革新

- (1) 楽しい（分かる・できる・夢中になる）学習、学び合いのある学習を展開する。
児童自身が求める好奇心を追求するための学び方を身に付けさせ、主体的に学ぶ基礎を培う。
主体的に学び合う学習（教える⇒学ばせる オウム返ししない 教師が話過ぎない）
- (2) 教室・廊下の環境、学習環境を整備し「環境」から児童の意欲を高める。

- 毎時の授業の「めあて（目標）」は児童の言葉から明確に立てる。「まとめ」も児童の言葉から分かったこと等を明確に示すと共に価値付けを必ず行い認め自信につなげる。
- 授業の「始め」と「終わり」の挨拶 「切り替える」挨拶を行う。
挨拶を形式化させずに挨拶担当が自分の言葉を加えて授業に主体的に取り組む姿勢を高める。
- 学力に関する調査結果を生かし、指導法の改善策を学校・学年で検討し具体化する。
- 基礎基本の定着を目指した指導を実践していく。
 - ・児童の考えを生かしながら授業を展開する。
 - ・朝の会を効果的に実施し、落ち着いた一日のスタートになるようにする。
 - ・ドリルパークや東京ベーシックドリル等の活用をする。
- 聞く力、話す力が身に付く授業・学級活動を工夫する。
 - ・児童が自分の考えを話せる場を定期的に設定する。相互指名等の学習形態を工夫して取り入れる。
 - ・聞き話す必要感・必然性・相手意識をもたせた活動を工夫する。
 - ・聞いて話し手に反応を返したい、話して伝えたいという心の場づくりを工夫し安心できる活動
- ユニバーサルデザインの考え方に立った指導を行う。
 - ・個々の実態に応じて合理的配慮を適切に行う。
 - ・合理的配慮は、特別支援校内委員会等の組織で検討して行う。
- 遊び（時間）を通して、人間関係づくり、児童相互理解に取り組む。
- 教室移動の際は、机上整理、教室内の整頓を行わせる。豊玉ルールを徹底する。
- ☆ タブレットやICT機器を有効に活用し児童の基礎基本の定着やプログラミング的思考等を高める。
- ☆ 高学年の教科担任制を活用し、学期ごとに成果と課題を明確にし改善を図る。

2 地域や外部の意見を取り入れた学校運営の推進

- (1) 保護者、地域の方が学校に対して協力しやすい雰囲気を作る。
 - ① 定期的な学校公開、行事等を工夫して多くの保護者、地域に発信していく。
 - ② 必要に応じて、または要望に応じて随時公開する。基本的には公開が原則である。
 - ③ PTA、地域行事に参加、協力する
- (2) 地域の人材を生かした教育活動を工夫し、地域人材の協力を得る。

- 専門的な指導のできる方を招き、効果的な指導を展開する。
- 図書ボランティアを活用した読み聞かせ指導や図書管理を推進する。図書館との連携に向けて中学年を中心に推進する。
- 各種便り、ホームページにて児童・教職員の「頑張り」を広報する。

3 教職員の指導力・対応力の向上

- (1) 学年組織を基盤にした業務を行い、互いに業務を分担・共有し指導力・対応力の向上を図る
 - ① 教科や単元を分担して教材研究や準備を行い、学年会で共有して指導改善を組織で行う。
 - ② データ管理は、全教職員がクラウド上で共有して行い、学習資料やカード、分掌データなどを共有し作業効率を高めて業務の向上を図る。
 - ③ 学年会で児童の様子について共有し、生活指導の諸課題の未然防止を行うと共に、問題解決を組織的に行う。
- (2) 研究・研修と日常の実践（授業改革の日常化・研究研修の日常化・OJTの推進）
 - ① 基礎的・基本的な内容の習得、自分のめあてをもち主体的に学び合う児童の育成等、児童の実態に即し、また、課題解決に向け研究・研修を行う。
 - ② 現状に応じた感染予防対策を講じた教育活動を工夫し、学習のねらいを達成できるようにする。
 - ③ 学習指導要領の全教科・領域の内容を理解し、日常の指導に生かす。

● 全教科・領域＝教育活動全体を通して

- (1) 学び方を身に付けさせ教える授業から児童が主体的に学び合う授業に改善を図る。
- (2) 話し方・聞き方を含め、学習ルールを身に付けさせる。机上整理を行わせる。
- (3) 全力を出し切る、集中する経験をさせること、またその価値や充実感を味わわせる。
- (4) 生活全般にわたって、マナー、行動様式の質を高めていく。

● 研究・研修内容の留意点

- (1) 学習指導要領の内容を実現するため、全教員が全教科・領域のポイントを理解する。
- (2) 研究及び授業改革のキーワードを「自律的な学び手の育成」とし、学級経営を充実させながら、これからの時代に求められる「生きる力」（自己肯定感・より良い関係性を築く力・自ら学び合い高め合う力）、資質・能力を身に付けることをねらいとする。
- (3) カリキュラムマネジメント能力を各教員が向上させる。次年度の授業時数確保・諸行事の充実のために、教務主任はもとより、検討部会を立ち上げ、週時程や「都民の日」「開校記念日」の扱い、PTA 親子行事について方針を打ち出す。
- (4) 近年の校内研修の成果を生かすとともに、課題の解決に向けた実践的な取り組みとする。
今年度は、主体的に学び合う児童の育成をめざした授業改革を図る。プログラミング的思考を取り入れた授業改善と教員の指導力の向上及びタブレットの効果的活用の継続。
- (5) 体力が低い児童の割合が多いという実態の改善に向けて、体育科授業の改善と体育的情事の再構築を図る。

- ④ ミニ研修会等を適宜実施し若手育成を図る。
- ⑤ 悉皆研修はもとより、区教育会、区教委、都教委主催等の研修に参加する。外部研修で得たものは情報を共有し、内の実践に生かす・広める。また、会場校としても積極的に提供していく。
- ⑥ 「人権プログラム」を活用した研修、実践に取り組む。
- ⑦ 授業観察を年間3回（1学期に1回）行い、管理職をはじめ全職員で指導力を高め合う。
- ⑧ 特別な教科 道徳、外国語活動・外国語科の指導の在り方について研修・実践する。
- ⑨ 教育実習生等の指導を通して、各教員が指導力・対応力を向上させる
- ⑩ 都・区等の研修会場校として積極的に提供していく。

(2) 諸課題への取組

- ① 現状に応じた感染予防対策を講じた教育活動の工夫を行う。
 - ・感染状況と本校に応じた段階的な予防対策を講じる。
 - ・状況に応じたマスクの着脱、手洗いや消毒、適切な換気、児童が安全で安心できる学校生活を工夫する。
- ② 「いじめ」や「不登校」・「体罰防止」等、児童の悩み・困り感等への対応
 - 「豊玉小いじめ防止マニュアル」に従って、全職員の共通理解のもと適切・迅速な対応を組織的に行う。
 - 児童の訴えや話を丁寧に聞き取り対応する。定期的ないじめ調査とケース会議を行う。
いじめ等の可能性がある場合には、早急に組織的に対応し小さな芽のうちに解決する。
 - 児童の言動や家庭からの情報には常に注意を払い、児童の心の安定を図る。
 - 「話しやすい」学校・学年・学級経営に取り組む。
例えば、縦割り班担当者、専科教員・講師等、教員相互からの情報、交換授業、特別支援ケース会議等を通して、学年、学校全体で児童理解に努める。
 - 児童一人一人の声に耳を傾けられる時間を確保する。そのために、1日1回は声をかける。
 - 児童の状況を特別支援コーディネーターに伝え、スクールカウンセラー、心のふれあい相談員と連携を図る。ケース会議は定期・適宜行う。また、全職員で対応する。
 - 日常的に家庭との連携を「ざっくばらん」なものにする。連絡帳<電話連絡<面談（訪問）のスタンスで対応する。
 - 1学期に一度、各担任は休み時間等を利用して、児童との個人面談を行う。
SCが第5学年の全児童との面談と第1学年の学級観察を年度当初に行う。
- ③ 縦割り活動
これまでの取組の成果を生かして「縦割り班活動」を継続させる。昨年度までの成果である「運動遊び」、「挨拶運動」を継続実施する。
- ④ 生活・安全教育
「不審者対応の手引き」に基づいて生活安全教育を行うとともに、安全・危機管理体制を構築し、迅速な対応ができるようにする。交通安全でも、地域との連携、保護者への啓発を図る。
- ⑤ サービスの厳守
サービス事項について、定期・随時研修を行い、サービス事故0とする。特に、体罰や不適切な指導の禁止、私費会計の適切な執行、個人情報の管理・守秘義務を守ることを徹底して行う。
体罰防止策として、定期的なサービス研修、毎日の管理職による授業観察、学年合同や交換授業、児童の相談体制の充実等をおこなう。
- ⑥ 特別支援教育
特別支援コーディネーター、特別支援専門員、「えがおルーム」担任、スクールカウンセラー、心のふれあい相談員等と連携しながら、特別支援教室の円滑な運営を進める。校内全体の環境・児童の様子も把握し、より適切な組織的な支援体制を確立する。
区の特別支援教室のガイドラインに沿って対応する。
- ⑦ 外国語・外国語活動充実
各学年が年間計画に沿って指導方法の工夫や教材の開発を年間を通して行い、成果物を学習コンテンツに集約し、今後の指導に生かす。また、小中連携事業から研究に取り組む。

- ⑧ 音楽会・学芸会・展覧会の文化的行事のあり方を討する。
- ⑨ 体力向上に向けた取組を行う。

毎年の体力調査の結果から学年や個に応じた指導・支援の方法を検討して、体力の向上を図る。生涯にわたって健康や体力を向上させる意欲の向上を図ると共に、行い方等の理解、日常的に身のこなしを身に付ける等の配慮をする。

主に、体力向上の観点を含めた授業改善と体育的行事の再構築を行う。
- ⑩ 地域教育コーディネーターの活用

地域人材の活用について、コーディネーターと連携し、企画・調整を行い、より学習・体験内容を充実させるとともに、効率的な運営を行う。
- ⑪ 民間委託となった用務に関する迅速・適切な対応、連携。
- ⑫ 私費会計事務が円滑に進むよう、全教職員がシステムを活用できるようにする。
- ⑬ 省エネ対応 日常の節電等、光熱費のコスト意識を持つ。また、体育館の空調工事の適切な対応、空調設備の効果的・効率的な活用に努める。
- ⑭ 働き方改革の観点からも「学校閉校日」の活用等を図る。

教育の質の向上のために

経営の重点

◇未来を創造する「自律的な学び手」の育成を目指す授業

◎教師主体の授業→児童主体の授業への授業革新

◎自己調整力の育成

◎組織的な特別活動の推進による自治的能力の育成→学級活動の充実 「豊小子ども会議」の実施

◎「子どもの権利条約」を踏まえ、児童の人権を尊重した教育活動の充実→自己肯定感・自己有用感・自己効力感等の自尊感情の醸成

◇働き方改革

◎校務DXの一層の推進

- ・都外部コンサルタント事業校
- ・パナソニック教育財団研究助成校

◎午前5時間制による放課後の余白の時間の活用

◎専科教員・EAを活用した副担任制

◎教科担任制・交換授業を活用したチーム担任制

◇次年度以降を見据えた研究・研修

◎特色ある教育課程編成

◎時程の工夫「午前5時間制」→40分授業へ

◎「自律的な学び手」の育成→研究指定校

◎高学年教科担任制及び中学年交換授業

民間委託との協働

- 用務主事
- 給食業務

体育館空調

- 効率的な使用
- 節電

会計

給食・教材費等のデータ管理、対応

東京都教育委員会

継続的な取組

◎「挨拶日本一の学校！」

◎ 児童が創造する学校行事！

◎「いじめ見逃しゼロ」！

◎ 多様な児童への対応！

- ・校内居場所
- ・SC及び心ふれの活用
- ・えがおルームとの連携

○ 幼保小連携

- ・スタートカリキュラム

○ 小中一貫教育

- ・「15の姿」

○ 防災教育

- ・「自分の命は自分で守る」「命てんでんこ」

◎ 服務事故防止の徹底！

◎ HP等日常の情報発信！

○ 心に寄り添った児童理解

○ 豊玉スタンダード、学習態度・学校生活学習環境

○ 異年齢活動

○ 地域・保護者との連携

○ 地域教育力の活用

○ 保護者との連携

- ・保護者会、面談、日常的な丁寧な連絡等

○ オリ・パラ教育

○ ひろば、学童との連携

次年度以降につなげる取組

